

第2回西予市復興座談会を開催しました

平成31年2月に、西予市復興まちづくり計画に関する第2回西予市復興座談会を旧町単位（5地域）で実施しました。

この復興座談会では、西予市復興まちづくり計画(案)の全体像と、5地域それぞれの復興方針(案)を示すとともに、第1回復興座談会においていただいていた質問への回答・対応状況について報告させていただきました。その後、意見交換として、計画(案)への意見や提言、市民の皆様の抱える課題等、様々なご意見をいただきました。

■第2回復興座談会の開催状況

日時	地域	会場	参加者数
平成31年2月12日（火）19時～	三瓶町地域	三瓶支所	30人
平成31年2月13日（水）19時～	宇和町地域	西予市役所	54人
平成31年2月14日（木）19時～	明浜町地域	依津公民館	22人
平成31年2月19日（火）19時～	野村町地域	野村公民館	77人
平成31年2月20日（水）16時～	城川町地域	総合センターしろかわ	74人

西予市復興まちづくり計画(案)について

西予市復興まちづくり計画(案)は、復興座談会での市民の皆様の意見や、各種団体の代表者や学識経験者、地域の代表者等から構成される西予市復興まちづくり計画策定委員会等での議論を踏まえながら策定を進めているところです。

第1回復興座談会にもお示しさせていただいた基本理念と5つの基本施策に基づき、西予市の復興まちづくりを進めていくための具体的な施策や事業を体系的に整理しています。

また、地域別の復興方針では、旧町ごとの被災状況や特性等を踏まえた復興まちづくりの方向性を示しています。

【西予市復興まちづくり計画(案)の構成】

構成	記載事項（案）
第1章 はじめに	・計画策定の趣旨、計画の役割と位置づけなどを整理しています。
第2章 災害の概要	・平成30年7月豪雨の概要や被害状況を整理しています。
第3章 復興に向けた基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・西予市の復興まちづくりを進めていくうえで、基本的な考え方として、「復興の基本理念」や「基本施策」を示しています。 ・また、復興まちづくりに向けた施策・事業の整理にあたって体系的な整理を行うための施策体系図を示しています。 (基本理念、基本施策、体系図は次頁参照) ・なお、復興の目標（キャッチフレーズ）も示す予定であり、市内の中学生や小学校高学年の子どもたちから応募いただいた作品の中から選定を行うこととしています。
第4章 基本施策	・5つの基本施策の体系ごとに、「復興に向けた現況と課題」、「復興に向けた対応方針」、「主な取組・施策」を整理しています。
第5章 地域別の復興方針	・各地域（旧町単位）の特性を踏まえた具体的な施策・事業を整理しています。
第6章 計画の推進、進捗管理	・計画の推進にあたり、市民との協働や財源の確保等を位置づけ、西予市復興対策本部を中心に進捗管理に努めることを示しています。

【3つの基本理念】

- 一つ 寄り添い支え合う
- 一つ 一人の100歩より100人の一歩
- 一つ 何ができるか考える

【5つの基本施策】

- (1) 安心して安全なまちの再建
- (2) 日常の暮らしの再建
- (3) 産業・経済における生業（なりわい）の再建
- (4) インフラ環境、まちなみの整備
- (5) 子育てや教育環境の再建

【西予市復興まちづくり計画(案)の施策体系】



各地域における復興座談会での主な意見

各地域の復興座談会では、計画(案)や復興まちづくりを進めていく上での貴重なご意見等をいただきました。

三瓶町地域での主な意見

■ 安心で安全なまちの再建について

- ・お寺の裏でがけ崩れが起きている。個人での対応は困難であり、津波の緊急避難場所でもあることから市による補助を検討して欲しい。
- ・谷道川には多くの土砂堆積があり、石垣も崩れている。被害が広がる懸念があり、対策を検討して欲しい。
- ・砂防ダムの土砂堆積が進んでおり、その対策が必要なのではないか。
- ・三瓶町地域は津波災害が懸念されており、支所を安全な高台に移転することも検討が必要なのではないか。
- ・南海トラフ地震が起きて、原子力災害が発生する可能性があり、その対策も進めていく必要がある。

■ 産業・経済における生業の再建について

- ・ため池の流入部に土砂が堆積しており、その対応を検討して欲しい。
- ・段々畑の石垣の崩壊など、小さな災害に対しても支援を検討して欲しい。
- ・水路の改修で補助の対象にならないと言われていた箇所がある。集落では対応できないため、何らかの対策を検討して欲しい。

■ インフラ環境、まちなみ整備について

- ・国道378号のトンネル整備については、県に対して強く要望していただきたい。

■ その他

- ・6年間の計画ということだが、ある程度の期間で進捗状況等を市民に知らせて欲しい。

宇和町地域での主な意見

■ 安心で安全なまちの再建について

- ・河川敷に多くの土砂堆積や流れの支障となる立木がある。その対策を検討して欲しい。
- ・宇和川にある堰について、自動で倒れる堰に変えるといったことを検討して欲しい。
- ・道路が被災して孤立する可能性がある。ドクターヘリの離着陸場の設置を検討して欲しい。

■ 子育てや教育環境の再建について

- ・明間保育園の再開に向け、保護者の意向等も踏まえ、前向きに検討して欲しい。

明浜町地域での主な意見

■ 安心で安全なまちの再建について

- ・県道宇和明浜線で道路に水があふれる箇所がある。道路の復旧とあわせて対策をすべきでは。

■ その他

- ・復旧工事の発注に取り組んでいるとのことだが、あまり進んでいるとは感じない。早期の工事着手をお願いしたい。



野村町地域での主な意見

■ 安心で安全なまちの再建について

- ・野村ダムから流れてくる水に対して安全性を確保することが最重要課題である。国や県に対して、対策の推進を強く要望して欲しい。
- ・河川整備計画等を見直す際には、住民が参画すべきである。
- ・川沿いの農地の土砂撤去等を早期に進めて欲しい。

■ 産業・経済における生業の再建について

- ・被災した堰や水路を早期に直してもらわないと田植えができない。
- ・復旧・復興にあたり、市からもつなぎ資金的な支援をお願いしたい。
- ・被災した野村のまち中のまちづくりについて、市が前向きな案を提示して、野村町民をひっぱって欲しい。

■ 子育てや教育環境の再建について

- ・野村体育館が取壊しになると、乙亥会館を使うことになるが、乙亥会館のような大きな施設を少人数で使うことに抵抗がある。
- ・野村小学校児童が浸水表示板の取付を行った。市として同様の取り組みを行ってはどうか。

■ 日常の暮らしの再建について

- ・被災者は疲弊している。被災者一人ひとりの話を聞いて、必要な支援策を考えるべき。
- ・住まいの確保にあたって空き家の活用等も検討すべき。
- ・三島町以外にも家屋の全壊の被害を受けた人がいるので、安全な場所への移転等の支援を検討して欲しい。

■ インフラ環境、まちなみ整備について

- ・県道宇和野村線は、地域にとって重要な道路であり、早期の復旧を進めて欲しい。
- ・三島町の集団移転や跡地活用等の検討状況について、早めの情報提供をお願いしたい。
- ・今後、家を撤去し空き地が増えると思われ、雨庭(一時的な貯水機能を持つ庭)といった取組を検討してはどうか。

■ その他

- ・もっと小さい単位での説明会や話し合いの場などを持つことも検討して欲しい。

城川町地域での主な意見

■ 安心で安全なまちの再建について

- ・公民館が指定避難所であり、避難勧告等の発令時に主事が一人で対応している。今後の避難所運営のあり方について、市からガイドライン等を示して欲しい。
- ・住民からも自主防災組織のあり方を検討すべきという意見があった。自主防災組織のあり方や活動について、市からの提案やアドバイスをお願いしたい。

■ 日常の暮らしの再建について

- ・簡易水道が被災した際には組合で対応できないという懸念がある。

■ 産業・経済における生業の再建について

- ・県の補助対象とならない林道・林内作業道の復旧について、何らかの対策を検討して欲しい。

野村町地域



城川町地域



今後の予定

今回の第2回復興座談会のご意見も踏まえつつ、平成31年3月初旬に予定している西予市復興まちづくり計画策定委員会の審議を経て、3月末までに「西予市復興まちづくり計画」の策定を進めていきます。